

〔1〕 校是

「裕かに 聡く 逞しく」

裕かに…自然や人とのふれあいを広げ、みずみずしい感性と思いやりのある広やかな心を養おう

聡く…自ら学ぶ意欲を育て、広い視野と探究心をもって、未来を創造する聡明な知恵を培おう

逞しく…主体的にスポーツ・文化活動に取り組み、逞しい意志と身体をもって、自己を切り拓こう

〔2〕 教育目標

個性を尊重し、徳・知・体の調和のとれた心豊かで逞しい人間を育成するとともに地域や社会の発展に貢献し、国際社会の中で信頼と尊敬を得る国民を育成するために次の目標を掲げる。

- 1 感性豊かで思いやりのある人間を育成する
- 2 創造力と知性に富む人間を育成する
- 3 逞しく主体的に行動できる人間を育成する

〔3〕 教育方針

地域や社会の指導者としての資質の育成に努め、信頼される学校であり続けるために次の方針を立てる

- 1 礼儀と節度を重んじ、他人の立場に立ち責任ある行動ができる生徒の育成に努める
- 2 生徒自らが学び、考え、実践する能力を育成し、学力向上に努める
- 3 強い意志と健康な身体をもつ意欲的な生徒を育成し、進取の校風の確立に努める

〔4〕 目指す学校像

- 1 生徒一人ひとりが礼儀正しく他者を思いやる行動をする学校
- 2 生徒一人ひとりが自立した学習者となり主体的に学び合う学校
- 3 生徒一人ひとりが文武両道を追求する学校
- 4 特色ある教育活動を展開する学校
- 5 生徒一人ひとりの進路希望を実現させる学校
- 6 広い視野を持ち社会に貢献する学校

重点目標	具体的方策	自己評価		学校関係者評価
		評価	成果（○）と課題（＊）	意見・要望・評価等
主体的に学びに向かう意欲を喚起し、学力向上につなげる取組	① 「裕かに（心を育てる）、聴く（思考力を鍛える）、逞しく（行動をうながす）」視点を取り入れた探究活動の推進による、自ら思考し、行動できる学習態度の育成。	B	○学校全体で、授業内容の充実に向けられており、課題提出の指導や学習会の設定などの指導が学習習慣定着に向け効果を上げている。 ○9月からの各教室への大型提示装置の設置やGoogle Workspaceの活用によりICT教育の充実が進んできた。 ○各ゼミで多様な学びの場面が工夫され、特にゼミ発表会の改善や発表内容をまとめる要旨のまとめなど、生徒の思考や行動を広げる活動ができた。 ○学習時間の確保と節度ある活動となるように各部で部活動計画をたて活動を行った。	・保護者アンケートから見ても概ね達成されていると言える。 ・今後とも探究的な学習によって、生徒の主体性がさらに高まるように支援していったほしい。
	② 生徒の学力状況・到達目標を踏まえ、指導と評価の一体化が図られた授業や学習活動の充実。	B	＊個別の到達目標の達成や、求められる新しい学力観の指導に向けて、主体的・協働的な学びの場面を取り入れ、具体的な技能の習得につなげる。	
	③ 表現力や活用力を重視した学習システムの推進。	B	＊探究学習の指導の更なる充実に向けて、指導者の研修や工夫のために、全体での研修会等の充実。	
	④ 毎日の家庭学習を充実させるため、学習課題の精選や時間にメリハリある部活動の実施。	B		
基本的生活習慣の確立と、特別活動等を自主的に実践し続ける力の育成	① 場面に応じ、自ら挨拶をする生徒の育成。	B	＊挨拶や服装、登校について概ね良好であるが、自ら考え自律的に行動できる生徒を育成していく必要がある。	・コロナ禍でも、生徒会活動や部活動等、頑張っている。さらに生徒が主体的に活動できるよう継続して支援し育ててほしい。 ・探究活動など生徒が主体的に学ぶ機会がある。今後、さらに外部連携を図り、生徒が地域で活躍する機会を増やしたい。
	② 清楚な装いと教室内外の整理整頓の徹底による学習環境の整備。	B	＊SNS等に関しては、問題行動にいたる事案が増加・複雑化している傾向にある。また、スマホで撮った画像の取り扱いについても危険性を知らない生徒がおり、注意喚起が必要である。これらの危険性について今後も機会があるたび注意喚起していくことが必要である。	
	③ 探究的な学習活動、生徒会活動や部活動等、あらゆる教育活動を通した自律的行動力の育成。	B	○RDD実行委員会の活動や学校祭での地域連携など、生徒の主体的な活動が充実してきている。 ○新型コロナウイルス感染症防止対策につとめ、西高祭、2年次の修学旅行などの学校行事を行った。クラスマッチは中止。 ＊昨年度より、部活動は任意加入になったが、部活動の意義や校外活動も含め、自主的な活動を促していくとともに、来年度は職員研修会等も開き、意見交換をしていく予定である。	

キャリア教育の推進と進路指導の充実	① 多様な進路希望、多様な入試制度に対応した組織的支援体制の充実。	B	＊進路指導と探究ゼミとの指導の関連を検討。 ○大学入試に向けた、進路指導の教材を新しいものに変わることができ、生徒への指導に役立てることができた。 ○保護者向けの進路講演会を開き、進路実現に至るプロセスや進路情報を生徒・保護者に伝えることができた。また、今年度は著名な講師を呼び、生徒・保護者の進路意識や生き方あり方について考えさせることができた。	・多様な進路に対応した指導を行っている。今後も生徒一人ひとりの進路達成に向け、進路指導の充実を図ってほしい。
	② 大学入学共通テストを始めとする大学入試改革への対応。	B		
	③ 進路実現に至るプロセス等の生徒保護者への丁寧な説明と情報の共有。	B		
心身の健康推進と安全安心な学校生活の実現	① 不登校等メンタルの課題に対する理解と組織的な支援活動の充実。	B	○今年度は、特別教育支援委員会に小委員会を設けたことで、情報共有や対応がよりスムーズになったとともに、合理的配慮等にも適切に対応することができるようになった。 ○いじめ問題の早期発見に対応できるような、生徒指導体制と年次での指導体制がある程度確立していた。 ＊新型コロナウイルス感染症防止対策については校内での健康観察や換気、手指の消毒、密を避けるなど行ったが、健康観察チェックシートへの記入や入力の不徹底なので、生徒への指導をより効果的に行う必要がある。	・いじめ問題などの未然防止がある程度図られている。 ・教員からの注意喚起だけではなく、生徒に自ら考えさせることも望ましい生徒像の育成につながるのではないと思われる。
	② いじめ問題発覚時の迅速な対応、組織での情報共有や対応協議など、「抱えこまない」対応の実施	B		
	③ 生命を守ることを最優先とする危機管理、健康管理体制の点検と充実。健康診断結果などを活用した、生徒の健康自己管理能力の育成。	B		
開かれた学校づくりの推進	① 授業の公開や研究授業の推進、情報発信による開かれた学校づくりの推進。	B	○研修や新学習指導要領に向けた授業の公開などが行われた。 ○来年度の評価に向けた職員研修会を行い、情報共有や意見交換を行うことが出来た。 ＊学校全体での授業公開も必要である。	・学校からの情報発信として、ホームページの活用を期待する。
	② 教育資源に着目した地域社会との連携、各校種との連携による多層的な教育活動の充実	B		
新教育課程に向けた準備の推進と、今後の学校の在り方の検討	① 今後の学級減を見通したあるべき学校像の検討	C	＊令和6年度学級減に向けた、引き続き、部活動の改編、校務分掌等の検討を行っていく。	・生徒数、教員数の減員を見据え、教育課程や部活動などさらに検討が必要である。
	② 職員の減少による影響の分析と校内組織再構築に向けた検討	B		